

グローバル COE プログラム
「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」
平成 21 年度 国際宇宙大学派遣 報告書

平成 21 年 9 月 30 日

氏 名	松原 慶典		
所 属	大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士後期課程1年		
指導教官名	大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授 滝田 謙一		
派遣期間	平成 21 年 6 月 20 日 ~ 平成 21 年 8 月 30 日		
派遣先（施設名／都市名／国名）	NASA Ames Research Center/Mountain View/USA		
派遣期間中における主な訪問先	特になし		
参加人数	131（内日本人 8名）	参加国数	35カ国
参加チームプロジェクト	TP DREAM (Disaster Risk Evaluation And Management)		
著名な講演者	Peter H. Diamandis、Robert D. Richards、向井千秋、S. Pete Worden（敬称略）		
派遣期間中の協賛学会等への参加	なし		
<p>今年の国際宇宙大学スペーススタディーズプログラム（ISU SSP09）はアメリカ合衆国カリフォルニア州にある NASA Ames Research Center で開催された。参加者は、私のような大学院生から企業や各国の宇宙機関などの第一線で活躍する技術者や科学者、さらには法律家や芸術家まで様々な専門を持った人間で構成されていた。</p> <p>10 週間で Core Lecture、Department Activity、Team Project や Workshop などから宇宙に関して非常に幅広く学ぶことができた。過去の参加者から聞いていた通り、SSP は短期集中の非常に濃密なプログラムである上、全て英語で行われるため、自分にとっては決して簡単なものではなかった。特に、法律やビジネスなど自分の専門外の分野に関しては非常に苦労した。しかし、Department Activity で新たなことに挑戦しようとして選択した Business and Management は学ぶこと全てが新鮮で、良い経験となった。</p> <p>宇宙に関する知識や経験はもちろんであるが、言葉や文化、専門は異なるが宇宙という共通項でつながった多くの仲間と過ごした時間と彼らから受けたたくさんの刺激は何にも変えがたい財産となった。ここで得られた経験や幅広い視野は今後の研究活動に必ずや生きてくると確信している。</p> <p>SSP は毎回場所を替えて開催されるが、NASA の敷地内で開催されるのは SSP の 22 回の歴史の中で今回が初めてであった。NASA Ames Research Center の受け入れ態勢は非常にすばらしく、10 週間不自由なく勉強に打ち込むことができた。この場を借りて、関係者各位に感謝の意を表する。</p>			
			
Department Activity でのグループ発表の様子		TP DREAM の集合写真	